

平成30年度 4月入学

九州大学大学院 人間環境学府
博士後期課程

学 生 募 集 要 項

一 般 選 拔	1～5頁
社 会 人 特 別 選 拔	6～9頁
社 会 人 特 別 選 拔 (教 育 シ ス テ ム 専 攻)	10～11頁
外 国 人 留 学 生 特 別 選 拔	12～13頁
各 選 拔 共 通	14～18頁
願 書 等 用 紙	19頁以降

平成30年度4月入学 九州大学大学院 人間環境学府 博士後期課程（一般選抜）学生募集要項

1. 募集専攻及び募集人員

専攻	コース	募集人員 ※1
都市共生デザイン専攻	都市共生デザインコース	5名
	持続都市建築システム国際コース	別途募集
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	9名
	共生社会学コース	
行動システム専攻	心理学コース	10名
	健康・スポーツ科学コース	
教育システム専攻	教育学コース	9名
空間システム専攻	空間システムコース	7名
	持続都市建築システム国際コース	別途募集

※1. 募集人員合計40名のうち6名は外国人留学生の定員とする。

2. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成30年3月末までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月末までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月末までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月末までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月末までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び平成30年3月末までに認められる見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ※ 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者。
- (8) 本学府において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに24歳に達しているもの

※ 出願資格審査

上記(7)及び(8)に該当する者は、個別の出願資格審査を行うので、予め貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）へ申し出て、次の書類を1月4日（木）までに貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）宛提出すること。なお、資格審査の結果は1月15日（月）に本人あて発送する。

- | | |
|---------------|----------|
| (イ) 出願資格審査申請書 | 本学府所定の用紙 |
| (ロ) 入学願書・履歴書 | 本学府所定の用紙 |
| (ハ) 成績証明書 | 最終学校のもの |
| (ニ) 卒業証明書 | 最終学校のもの |
| (ホ) 追加出願書類 | コース指定のもの |

3. 願書受付期間

平成30年1月18日（木）から平成30年1月24日（水）午後5時まで
（土日祝日は受け付けない。なお、郵送の場合も1月24日（水）午後5時までに必着すること。）

4. 出願書類

志願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に九州大学貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）宛提出すること。

〈専攻・コース共通〉

- (1) 入学願書、履歴書及び受験票・照合票（本学府所定の用紙を使用すること。なお、入学願書及び照合票貼付用写真は出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽4センチ×3センチ大のものを使用すること。）
- (2) 出身大学院研究科等の成績証明書
- (3) 修士課程修了（見込）証明書又は大学評価・学位授与機構が発行する修士の学位授与（見込）証明書
- (4) 入学検定料30,000円（14頁「入学検定料の支払いについて」参照）
 - ・本学大学院修士課程又は専門職学位課程を平成30年3月修了見込みの者及び日本政府（文部科学省）国費留学生は不要。出願の際、必ず国費留学生証明書を同封すること（本学在学中の国費留学生は不要）。
 - ・出願書類受理後の検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については返還を行う。
- (5) 受験票返送用封筒
宛名を明記した返信用封筒1枚（規格長形3号「12センチ×23.5センチ」）に郵便切手362円（速達）を貼付すること。
- (6) 住所シール 本要項綴じ込みの用紙（シール）に志願者の志望専攻、住所、氏名を記入すること。

〈専攻・コース別〉

専攻	コース	追加出願書類
都市共生デザイン専攻	都市共生デザインコース	(1) 修士学位論文(写)と論文要旨 ・論文要旨は、本学府所定の用紙を用いて、日本語の場合は4,000字以内、英語の場合は2,000語以内で記述のこと。 ・修士学位論文(写)が間に合わない場合は、入学審査日に修士学位論文(写)と論文要旨を持参すること。 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者は提出を必要としない。 (2) 研究業績概要調書および研究計画書 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者だけが提出する。 ・研究計画書は、本学府所定の用紙を用いて、日本語の場合は2,000字以内、英語の場合は1,000語以内で記述のこと。
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	(1) TOEICまたはTOEFLの成績証明書 ※1 ・出願締切日から遡って2年以内（平成28年1月25日以降）に受験したもの。 (2) 出身大学院研究科等に提出した修士論文又はその写しで、志望専攻に関する内容のものであること。 (3) 修士論文以外に研究業績のある者は、その論文等を併せて提出すること。 なお、この場合その論文等は、志望専攻に関する内容のものであること。
	共生社会学コース	(1) 出身大学院研究科等に提出した修士論文又はその写しで、志望専攻に関する内容のものであること。 (2) 修士論文以外に研究業績のある者は、その論文等を併せて提出することができる。 なお、この場合その論文等は、志望専攻に関する内容のものであること。
行動システム専攻	心理学コース	(1) TOEIC（Listening & Reading Test、L&R）またはTOEFLの成績証明書 ① 出願締切日から遡って2年以内（平成28年1月25日以降）に受験したもの。 ② TOEIC(L&R)-IP及びTOEFL-ITP等の団体特別受験制度による成績証明書も利用できる。 (2) 出身大学院研究科等に提出した修士論文又はその写しで、志望専攻に関する内容のものであること。 (3) 上記(2)以外の研究業績目録（様式自由） 下記の内、該当する業績をすべて記載すること。 ① 査読付き学術論文 ② 著書 ③ 学会発表 ④ ①～③以外の公刊された論文及び報告書等 ⑤ 現在実施中の研究プロジェクトの課題名及び概要（課題ごとに300字程度） (4) 上記(3)に記載したものの現物（別刷）又はその写し。

専攻	コース	追加出願書類
行動システム専攻	健康・スポーツ科学コース	(1) 出身大学院研究科等に提出した修士論文又はその写しで、志望専攻に関する内容のものであること。 (2) 修士論文以外に研究業績のある者は、その論文等を併せて提出することができる。 なお、この場合その論文等は、志望専攻に関する内容のものであること。 (3) 修士論文要旨（日本語の場合は4,000字以内、英語の場合は2,000語以内）及び博士後期課程進学後の研究計画（日本語の場合は2,000字以内、英語の場合は1,000語以内）を本学府所定の用紙を使用し提出すること。
教育システム専攻	教育学コース	(1) TOEIC (Listening & Reading Test、L&R) または TOEFL の成績証明書 ・出願締切日から遡って2年以内（平成28年1月25日以降）に受験したもの。 ・TOEIC(L&R)-IP 及び TOEFL-ITP 等の団体特別受験制度による成績証明書も利用できる。 (2) 出身大学院研究科等に提出した修士論文又はその写しで、志望専攻に関する内容のものであること。 (3) 修士論文以外に研究業績のある者は、その論文等を併せて提出することができる。 なお、この場合その論文等は、志望専攻に関する内容のものであること。 (4) 修士論文要旨（修士論文の概要及び現在進めている研究があれば、その概要と経過についても併せて提出すること。日本語の場合は4,000字以内、英語の場合は2,000語以内）及び博士後期課程進学後の研究計画（日本語の場合は4,000字以内、英語の場合は2,000語以内）を本学府所定の用紙を使用し提出すること。
空間システム専攻	空間システムコース	(1) 修士学位論文(写)と論文要旨 ・論文要旨は、本学府所定の用紙を用いて、日本語の場合は4,000字以内、英語の場合は2,000語以内で記述のこと。 ・修士学位論文(写)が間に合わない場合は、入学審査日に修士学位論文(写)と論文要旨を持参すること。 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者は提出を必要としない。 (2) 研究業績概要調書および研究計画書 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者だけが提出する。 ・研究計画書は、本学府所定の用紙を用いて、日本語の場合は2,000字以内、英語の場合は1,000語以内で記述のこと。

- ※1 人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コースの英語資格試験（TOEIC、TOEFL）について
TOEIC 公開テスト（TOEIC Listening & Reading Test）、TOEFL-iBT、TOEFL-PBT のいずれかを事前に受験しておくこと。
・成績証明書とは、TOEIC の Official Score Certificate（公式認定証）、TOEFL の Official Score Report（公式スコアレポート）を指す。
・成績証明書は、顔写真付きのものとする。
・以下のスコアは認められない。
TOEIC IP、カレッジ TOEIC、TOEFL ITP などの団体受験制度によるもの
TOEIC Speaking & Writing Test、TOEIC Speaking Test、TOEIC Writing Test、TOEIC Bridge Test によるもの

5. 入学審査方法

入学者の選抜は、学力試験と出願書類等を総合して判定する。

(1) 学力試験は、筆記試験及び口述試験によって行う。筆記試験は外国語科目について行う。

※ ただし、人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース、行動システム専攻心理学コース及び教育システム専攻については、書類審査と口述試験とし、筆記試験は行わない。

(2) 筆記試験科目

専攻	コース	外国語科目
都市共生デザイン専攻	都市共生デザインコース	英語
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	※1 行わない（書類審査をもって筆記試験に代える）
	共生社会学コース	英語
行動システム専攻	心理学コース	※1 行わない（書類審査をもって筆記試験に代える）
	健康・スポーツ科学コース	英語
教育システム専攻	教育学コース	※1 行わない（書類審査をもって筆記試験に代える）
空間システム専攻	空間システムコース	英語

※1 人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース、行動システム専攻心理学コース及び教育システム専攻については、英語は出願締切日から遡って2年以内に受験した TOEIC または TOEFL の点数をもって外国語の筆記試験に代える。

(3) 口述試験

専攻	コース	内 容
都市共生デザイン専攻	都市共生デザインコース	専攻科目及び修士学位論文等（最近の研究成果を含む）に関する試問
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	提出された論文及び専攻の分野等に関する試問
	共生社会学コース	
行動システム専攻	心理学コース	提出された論文及び今後の研究計画に関する試問
	健康・スポーツ科学コース	
教育システム専攻	教育学コース	提出された論文及び専攻の分野等に関する試問
空間システム専攻	空間システムコース	専攻科目及び修士学位論文等（最近の研究成果を含む）に関する試問

※ 都市共生デザイン専攻、空間システム専攻、人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース及び行動システム専攻心理学コースについては以下のとおりとする。

・都市共生デザイン専攻、空間システム専攻

ア. これまでの研究内容及び今後の研究計画に関する資料を口述試験当日に持参すること。なお、都市共生デザイン専攻では12部、空間システム専攻では13部を準備すること。

イ. 口述試験の説明においては、既設のパソコン（OS:Windows）及び液晶プロジェクターを使用することもできる。

ただし、パソコンの利用にあたっては説明用のパワーポイントのデータを CD-R または USB フラッシュメモリーにコピーし持参すること。あるいは、各自のノートパソコンを持参しても構わない。

・人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース

ア. 研究経過及び研究計画に関する説明資料を、A 4 用紙 3 枚以内で10部準備し口述試験当日に持参すること。

この資料も審査の対象となるので、そのことに留意して作成すること。

・行動システム専攻心理学コース

ア. 追加出願書類にもとづく審査を行ったうえで、その内容についての質疑応答を面接形式で行う。

志願者は、これまでの研究が高い意義を持つことを的確な自己評価のもとに論じ、今後の研究への明確な展望を提示しなくてはならない。書類審査及び口述での応答と今後の研究の展望について、主に審査する。

イ. 研究経過及び研究計画に関する説明資料を、A 4 用紙 4 枚以内で10部準備し口述試験当日に持参すること。

この資料も審査の対象となるので、そのことに留意して作成すること。

ウ. 研究経過及び研究計画の説明においては、既設のパソコン（OS:Windows）及び液晶プロジェクターを使用することも可能である。ただし、パソコンの利用にあたっては説明用のパワーポイントのデータを USB フラッシュメモリーにコピーし持参すること。

6. 試験日時及び試験場

5 頁「入学考查日程（一般選抜）」を参照すること。

7. 合格者発表

合格者の受験番号を、平成30年3月5日（月）午前10時に文系合同掲示板（文科系共通講義棟前）に掲示するとともに、合格者については合格通知書を本人宛発送する。

また、本学府のホームページにも同日午前11時頃合格者の受験番号を掲載する。

URL：http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/

なお、電話等による照会には一切応じない。

入学考査日程（一般選抜）

平成30年2月15日（木）

専攻	コース	試験科目	時間	試験場
都市共生デザイン専攻	都市共生デザイン コース	筆記試験 外国語 口述試験	11:00～12:00 13:00～	九州大学箱崎キャンパス理系地区 工学部建築学科教室
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・ 研究コース	口述試験	10:30～	九州大学箱崎キャンパス文系地区 大学院人間環境学府附属 総合臨床心理センター
	共生社会学コース	筆記試験 外国語 口述試験	10:00～11:30 13:00～	九州大学箱崎キャンパス文系地区 文科系講義室 文学部教室
行動システム専攻	心理学コース	口述試験	10:30～	九州大学箱崎キャンパス文系地区 教育心理学系会議室
	健康・スポーツ 科学コース	筆記試験 外国語 口述試験	9:30～11:30 13:00～	九州大学筑紫キャンパス キャンパスライフ・健康支援センター
教育システム専攻	教育学コース	口述試験	13:30～	九州大学箱崎キャンパス文系地区 教育学系会議室
空間システム専攻	空間システムコース	筆記試験 外国語 口述試験	11:00～12:00 13:00～	九州大学箱崎キャンパス理系地区 工学部建築学科教室

平成30年度4月入学 九州大学大学院 人間環境学府 博士後期課程（社会人特別選抜）学生募集要項

1. 募集専攻及び募集人員

専攻	コース	募集人員
都市共生デザイン専攻	都市共生デザインコース	若干名
	持続都市建築システム国際コース	募集しない
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	若干名
	共生社会学コース	
行動システム専攻	心理学コース	別途募集
	健康・スポーツ科学コース	
教育システム専攻	教育学コース	別途募集
空間システム専攻	空間システムコース	若干名
	持続都市建築システム国際コース	募集しない

2. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成30年3月末までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月末までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
※ 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者。
- (8) 本学府において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに24歳に達するもの

〈専攻・コース別〉

人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コースの受験者は、上記(1)~(8)のいずれかの一つの資格に加えて、臨床心理士の資格を有する者、もしくはそれに準ずる経験を有する者

※ 出願資格審査

上記(7)及び(8)に該当する者は、個別の出願資格審査を行うので、予め貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）へ申し出て、次の書類を1月4日（木）までに貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）宛提出すること。なお、資格審査の結果は1月15日（月）に本人あて発送する。

- | | |
|------------------------------------|----------|
| (イ) 出願資格審査申請書 | 本学府所定の用紙 |
| (ロ) 入学願書・履歴書 | 本学府所定の用紙 |
| (ハ) 最終学校の成績証明書又は所属機関の紹介状（本学府所定の用紙） | |
| (ニ) 卒業証明書 | 最終学校のもの |
| (ホ) 追加出願書類 | コース指定のもの |

3. 願書受付期間

平成30年1月18日(木)から平成30年1月24日(水)午後5時まで
(土日祝日は受け付けない。なお、郵送の場合も1月24日(水)午後5時までに必着すること。)

4. 出願書類

志願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に九州大学貝塚地区事務部教務課学生第二係(人間環境学府担当)宛提出すること。

〈専攻・コース共通〉

- (1) 入学願書、履歴書及び受験票・照合票(本学府所定の用紙を使用すること。なお、入学願書及び照合票貼付用写真は出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽4センチ×3センチ大のものを使用すること。)
- (2) 出身大学院研究科等の成績証明書又は所属機関の紹介状(本学府所定の用紙を使用すること。)
- (3) 修士課程又は専門職学位課程修了(見込)証明書若しくは大学評価・学位授与機構が発行する修士の学位授与証明書
- (4) 入学検定料 30,000円(14頁「入学検定料の支払いについて」参照)
 - ・本学大学院修士課程又は専門職学位課程を平成30年3月修了見込みの者及び日本政府(文部科学省)国費留学生は不要。出願の際、必ず国費留学生証明書を同封すること(本学在学中の国費留学生は不要)。
 - ・出願書類受理後の検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については返還を行う。
- (5) 受験票返送用封筒
宛名を明記した返信用封筒1枚(規格長形3号「12センチ×23.5センチ」)に郵便切手362円(速達)を貼付すること。
- (6) 住所シール 本要項の綴じ込みの用紙(シール)に志願者の志望専攻、住所、氏名を記入すること。

〈専攻・コース別〉

専攻	コース	追加出願書類
都市共生デザイン専攻	都市共生デザインコース	(1) 修士学位論文(写)と論文要旨 ・論文要旨は、本学府所定の用紙を用いて4,000字以内で記述のこと。 ・修士学位論文(写)が間に合わない場合は、入学審査日に修士論文(写)と論文要旨を持参すること。 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者は提出を必要としない。 (2) 研究業績概要調書及び研究計画書 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者だけが提出する。 ・研究計画書は、本学府所定の用紙を用いて2,000字以内で記述のこと。
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	(1) TOEIC または TOEFL の成績証明書 ※1 ・出願締切日から遡って2年以内(平成28年1月25日以降)に受験したもの。 (2) 修士学位論文(写)と論文要旨 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者は提出を必要としない。 (3) 研究業績概要調書及び研究計画書 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者だけが提出する。 ・研究計画書は、本学府所定の用紙を用いて2,000字以内で記述のこと。 (4) 修士論文以外に研究業績のある者は、その論文等を併せて提出すること。 なお、この場合その論文等は、志望専攻に関する内容のものであること。 (5) 心理臨床経歴証明書もしくは在職証明書 (本学府所定の用紙により、官公署その他民間会社等代表者発行のもの。)
	共生社会学コース	(1) 修士学位論文(写)と論文要旨 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者は提出を必要としない。 (2) 研究業績概要調書及び研究計画書 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者だけが提出する。 ・研究計画書は、10,000字以内で記述のこと。

専攻	コース	追加出願書類
行動システム専攻	心理学コース	(1) TOEIC (Listening & Reading Test、L&R) または TOEFL の成績証明書 ① 出願締切日から遡って2年以内(平成28年1月25日以降)に受験したもの。 ② TOEIC(L&R)-IP 及び TOEFL-ITP 等の団体特別受験制度による成績証明書も利用できる。 (2) 修士学位論文(写)と論文要旨 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者は提出を必要としない。 (3) 研究業績概要調書及び研究計画書 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者だけが提出する。 ・研究計画書は、本学府所定の用紙を用いて2,000字以内で記述のこと。
	健康・スポーツ科学コース	(1) 出身大学院研究科等に提出した修士論文又はその写しで、志望専攻に関する内容のものであること。 (2) 修士論文以外に研究業績のある者は、その論文等を併せて提出することができる。 なお、この場合その論文等は、志望専攻に関する内容のものであること。 (3) 修士論文要旨(日本語の場合は4,000字以内、英語の場合は2,000語以内)及び博士後期課程進学後の研究計画(日本語の場合は2,000字以内、英語の場合は1,000語以内)を本学府所定の用紙を使用し提出すること。
空間システム専攻	空間システムコース	(1) 修士学位論文(写)と論文要旨 ・論文要旨は、本学府所定の用紙を用いて4,000字以内で記述のこと。 ・修士学位論文(写)が間に合わない場合は、入学審査日に修士論文(写)と論文要旨を持参すること。 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者は提出を必要としない。 (2) 研究業績概要調書及び研究計画書 ・出願資格(6)、(7)、(8)のいずれかにより出願する者だけが提出する。 ・研究計画書は、本学府所定の用紙を用いて2,000字以内で記述のこと。

※1 人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コースの英語資格試験 (TOEIC、TOEFL) について
TOEIC 公開テスト (TOEIC Listening & Reading Test)、TOEFL-iBT、TOEFL-PBT のいずれかを事前に受験しておくこと。
・成績証明書とは、TOEIC の Official Score Certificate (公式認定証)、TOEFL の Official Score Report (公式スコアレポート) を指す。
・成績証明書は、顔写真付きのものとする。
・以下のスコアは認められない。
TOEIC IP、カレッジ TOEIC、TOEFL ITP などの団体受験制度によるもの
TOEIC Speaking & Writing Test、TOEIC Speaking Test、TOEIC Writing Test、TOEIC Bridge Test によるもの

5. 入学審査方法

入学者の選抜は、学力試験と出願書類等を総合して判定する。

(1) 学力試験は、筆記試験及び口述試験によって行う。筆記試験は外国語科目について行う。
ただし、人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コースおよび行動システム専攻心理学コースについては、書類審査と口述試験とし、筆記試験は行わない。

(2) 筆記試験科目

専攻	コース	外国語科目
都市共生デザイン専攻	都市共生デザインコース	英語
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	※行わない(書類審査をもって筆記試験に代える)
	共生社会学コース	英語
行動システム専攻	心理学コース	※行わない(書類審査をもって筆記試験に代える)
	健康・スポーツ科学コース	英語
空間システム専攻	空間システムコース	英語

※ 人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース及び行動システム専攻心理学コースについては、英語は出願締切日から遡って2年以内に受験した TOEIC または TOEFL の点数をもって外国語の筆記試験に代える。

(3) 口述試験

専攻	コース	内容
都市共生デザイン専攻	都市共生デザインコース	専攻科目及び修士学位論文等(最近の研究成果を含む)に関する試問
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	専攻科目及び修士学位論文等に関する試問
	共生社会学コース	
行動システム専攻	心理学コース	専攻科目及び修士学位論文等(最近の研究成果を含む)に関する試問
	健康・スポーツ科学コース	
空間システム専攻	空間システムコース	

※ 都市共生デザイン専攻、空間システム専攻、人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース及び行動システム専攻心理学コースについては次のとおりとする。

- ・都市共生デザイン専攻、空間システム専攻
 - ア. これまでの研究内容及び今後の研究計画に関する資料を口述試験当日に持参すること。なお、都市共生デザイン専攻では12部、空間システム専攻では13部を準備すること。
 - イ. 口述試験の説明においては、既設のパソコン（OS:Windows）及び液晶プロジェクターを使用することもできる。ただし、パソコンの利用にあたっては説明用のパワーポイントのデータをCD-RまたはUSBフラッシュメモリーにコピーし持参すること。あるいは、各自のノートパソコンを持参しても構わない。
- ・人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース
 - ア. 研究経過及び研究計画に関する説明資料を、A 4用紙3枚以内で10部準備し口述試験当日に持参すること。
この資料も審査の対象となるので、そのことに留意して作成すること。
- ・行動システム専攻心理学コース
 - ア. 追加出願書類にもとづく審査を行ったうえで、その内容についての質疑応答を面接形式で行う。
志願者は、これまでの研究が高い意義を持つことを的確な自己評価のもとに論じ、今後の研究への明確な展望を提示しなくてはならない。書類審査及び口述での応答と今後の研究の展望について、主に審査する。
 - イ. 研究経過及び研究計画に関する説明資料を、A 4用紙4枚以内で10部準備し口述試験当日に持参すること。
この資料も審査の対象となるので、そのことに留意して作成すること。
 - ウ. 研究経過及び研究計画の説明においては、既設のパソコン（OS:Windows）及び液晶プロジェクターを使用することも可能である。ただし、パソコンの利用にあたっては説明用のパワーポイントのデータをUSBフラッシュメモリーにコピーし持参すること。

6. 試験日時及び試験場

平成30年2月15日(木)

専攻	コース	試験科目	時間	試験場
都市共生デザイン専攻	都市共生デザインコース	筆記試験 外国語 口述試験	11:00～12:00 13:00～	九州大学箱崎キャンパス理系地区 工学部建築学科教室
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	口述試験	10:30～	九州大学箱崎キャンパス文系地区 大学院人間環境学府附属 総合臨床心理センター
	共生社会学コース	筆記試験 外国語 口述試験	10:00～11:30 13:00～	九州大学箱崎キャンパス文系地区 文科系講義室 文学部教室
行動システム専攻	心理学コース	口述試験	10:30～	九州大学箱崎キャンパス文系地区 教育心理学系会議室
	健康・スポーツ科学コース	筆記試験 外国語 口述試験	9:30～11:30 13:00～	九州大学筑紫キャンパス キャンパスライフ・健康支援センター
空間システム専攻	空間システム専攻	筆記試験 外国語 口述試験	11:00～12:00 13:00～	九州大学箱崎キャンパス理系地区 工学部建築学科教室

7. 合格者発表

合格者の受験番号を、平成30年3月5日(月)午前10時に文系合同掲示板（文科系共通講義棟前）に掲示するとともに、合格者については合格通知書を本人宛発送する。

また、本学府のホームページにも同日午前11時頃合格者の受験番号を掲載する。

URL：<http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/>

なお、電話等による照会には一切応じない。

平成30年度 4月入学 九州大学大学院 人間環境学府 博士後期課程（社会人特別選抜） 教育システム専攻教育学コース学生募集要項

1. 募集人員

教育システム専攻 教育学コース 9名（一般選抜の定員を含む。）

2. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成30年3月末までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ※ 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者。
- (8) 本学府において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに24歳に達するもの

※1 上記(1)～(8)のいずれか一つの資格に加えてさらに出願時に教育に関する社会的活動あるいは国際・文化交流活動を5年以上経験していること。

※2 ただし、出願資格の確認は、本学府大学院社会人特別選抜専門委員会がこれを行う。出願しようとする者は、入学願書・履歴書（本学府所定の用紙）を添えて予め貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）へ申し出ること。また、上記(7)及び(8)に該当する者は、次の書類を1月4日（木）までに貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）宛提出すること。なお、資格審査の結果は1月15日（月）に本人あて発送する。

- | | |
|---------------|----------|
| (イ) 出願資格審査申請書 | 本学府所定の用紙 |
| (ロ) 入学願書・履歴書 | 本学府所定の用紙 |
| (ハ) 成績証明書 | 最終学校のもの |
| (ニ) 卒業証明書 | 最終学校のもの |
| (ホ) 修士論文要旨 | |
| (ヘ) 研究計画書 | |

3. 願書受付期間

平成30年1月18日（木）から平成30年1月24日（水）午後5時まで
（土日祝日は受け付けない。なお、郵送の場合も1月24日（水）午後5時までに必着すること。）

4. 出願書類

志願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に九州大学貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）宛提出すること。

- (1) 入学願書、履歴書及び受験票・照合票（本学府所定の用紙を使用すること。なお、入学願書及び照合票貼付用写真は、出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽4センチ×3センチ大のものを使用すること。）
- (2) 出身大学院研究科等の成績証明書及び修了（見込）証明書
- (3) 大学評価・学位授与機構が発行する学位授与証明書（学位授与機構から修士の学位を授与された者のみ提出すること。）
- (4) TOEIC（Listening & Reading Test、L&R）またはTOEFLの成績証明書
 - ・出願締切日から遡って2年以内（平成28年1月25日以降）に受験したもの。
 - ・TOEIC(L&R)-IP及びTOEFL-ITP等の団体特別受験制度による成績証明書も利用できる。
- (5) 出身大学院研究科等に提出した修士論文又はその写し（志望専攻に関する内容のものであること。）
- (6) 修士論文以外に研究業績がある者は、その論文等を併せて提出することができる。なお、この場合その論文等は、志望専攻に関する内容のものであること。
- (7) 修士論文要旨（4,000字以内）及び博士後期課程進学後の研究計画書（4,000字以内）を本学府所定の用紙を使用し、提出すること。
- (8) 教育に関する社会的活動経験について、特筆するものがある場合には、その概要を本学府所定の用紙を使用して記入すること。
- (9) 入学検定料 30,000円（14頁「入学検定料の支払いについて」参照）
 - ・本学大学院修士課程又は専門職学位課程を平成30年3月修了見込みの者及び日本政府（文部科学省）国費留学生は不要。出願の際、必ず国費留学生証明書を同封すること（本学在学中の国費留学生は不要）。
 - ・出願書類受理後の検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については返還を行う。
- (10) 受験票返送用封筒
宛名を明記した返信用封筒1枚（規格長形3号「12センチ×23.5センチ」）に郵便切手362円（速達）を貼付すること。
- (11) 住所シール 本要項綴じ込みの用紙（シール）に志願者の志望専攻、住所、氏名を記入すること。

5. 入学審査方法

入学者の選抜は、学力試験と出願書類等を総合して判定する。

- (1) 学力試験は口述試験によって行い、筆記試験は行わない。
英語は出願締切日から遡って2年以内に受験したTOEICまたはTOEFL点数をもって外国語の筆記試験に代える。
- (2) 口述試験
提出された論文を中心に行う。併せて、研究計画及び専攻の分野等について行う。
- (3) 書類審査

6. 試験日時及び試験場

期 日	試験科目	時 間	試 験 場
平成30年2月15日（木）	口述試験	13:30～	九州大学箱崎キャンパス文系地区 教育学系会議室

7. 合格者発表

合格者の受験番号を、平成30年3月5日（月）午前10時に文系合同掲示板（文科系共通講義棟前）に掲示するとともに、合格者については合格通知書を本人宛発送する。

また、本学府のホームページにも同日午前11時頃合格者の受験番号を掲載する。

URL：<http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/>

なお、電話等による照会には一切応じない。

平成30年度 4月入学 九州大学大学院 人間環境学府 博士後期課程（外国人留学生特別選抜）学生募集要項

1. 募集専攻及び募集人員

人間共生システム専攻 臨床心理学指導・研究コース 若干名

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 日本の大学院における修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成30年3月末までに取得見込みの者
- (2) 外国において、日本における修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月末までに授与される見込みの者
- (3) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月末までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (5) 本学府において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに24歳に達するもの

※ 出願資格審査

上記(5)に該当する者は、個別の出願資格審査を行うので、予め貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）へ申し出て、次の書類を1月4日（木）までに貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）宛提出すること。なお、資格審査の結果は1月15日（月）に本人あて発送する。

- | | |
|---------------------|----------|
| (イ) 出願資格審査申請書 | 本学府所定の用紙 |
| (ロ) 入学願書・履歴書 | 本学府所定の用紙 |
| (ハ) 研究業績概要調書及び研究計画書 | 本学府所定の用紙 |
- ・研究計画書は、本学府所定の用紙を用いて2,000字以内で記述のこと。

3. 願書受付期間

平成30年1月18日（木）から平成30年1月24日（水）午後5時まで

（土日祝日は受け付けない。なお、郵送の場合も1月24日（水）午後5時までに必着すること。）

4. 出願書類

志願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に九州大学貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）宛提出すること。

- (1) 入学願書、履歴書及び受験票・照合票（本学府所定の用紙を使用すること。なお、入学願書及び照合票貼付用写真は出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽4センチ×3センチ大のものを使用すること。）
- (2) 出身大学院（研究科）長が発行した成績証明書及び修了（見込）証明書（英訳又は和訳を添付すること。）
- (3) 日本語能力についての証明書（外務省又は在外公館の指定する機関又はそれに代わるものが発行したものであることを原則とする。）
- (4) 入学検定料 30,000円（14頁「入学検定料の支払いについて」参照）
 - ・本学大学院修士課程又は専門職学位課程を平成30年3月修了見込みの者及び日本政府（文部科学省）国費留学生は不要。出願の際、必ず国費留学生証明書を同封すること（本学在学中の国費留学生は不要）。
 - ・出願書類受理後の検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については返還を行う。
- (5) 受験票返送用封筒
宛名を明記した返信用封筒1枚（規格長形3号「12センチ×23.5センチ」）に郵便切手362円（速達）を貼付すること。

- (6) 住所シール 本要項の綴じ込みの用紙（シール）に志願者の志望専攻、住所、氏名を記入すること。
- (7) 修士学位論文(写)と論文要旨
- ・出願資格(5)により出願する者は提出を必要としない。
- (8) 修士論文以外に研究業績のある者は、その論文等を併せて提出すること。
 なお、この場合その論文等は、志望専攻に関する内容のものであること。
- (9) TOEIC または TOEFL の成績証明書
- ① 出願締切日から遡って2年以内（平成28年1月25日以降）に受験したもの。
 - ② TOEIC 公開テスト（TOEIC Listening & Reading Test）、TOEFL-iBT、TOEFL-PBT のいずれかを事前に受験しておくこと。
 - ③ 成績証明書とは、TOEIC の Official Score Certificate（公式認定証）、TOEFL の Official Score Report（公式スコアレポート）を指す。
 - ④ 成績証明書は、顔写真付きのものとする。
 - ⑤ 以下のスコアは認められない。
 TOEIC IP、カレッジ TOEIC、TOEFL ITP などの団体受験制度によるもの。
 TOEIC Speaking & Writing Test、TOEIC Speaking Test、TOEIC Writing Test、TOEIC Bridge Test によるもの。

5. 入学考査方法

入学者の選抜は、学力試験と出願書類等を総合して判定する。

- (1) 学力試験は口述試験によって行い、筆記試験は行わない。
 英語は出願締切日から遡って2年以内に受験したTOEICまたはTOEFL点数をもって外国語の筆記試験に代える。
- (2) 口述試験
 専攻科目及び修士学位論文等に関する試問

※ 研究経過及び研究計画に関する説明資料を、A 4用紙3枚以内で10部準備し口述試験当日に持参すること。
 この資料も審査の対象となるので、そのことに留意して作成すること。

6. 試験日時及び試験場

期 日	試験科目	時 間	試 験 場
平成30年2月15日(木)	口述試験	10:30～	九州大学箱崎キャンパス文系地区 大学院人間環境学府附属 総合臨床心理センター

※ 出願締切日から遡って2年以内に受験したTOEICまたは、TOEFLの点数をもって外国語の筆記試験に代える。

7. 合格者発表

合格者の受験番号を、平成30年3月5日(月)午前10時に文系合同掲示板（文科系共通講義棟前）に掲示するとともに、合格者については合格通知書を本人宛発送する。

また、本学府のホームページにも同日午前11時頃合格者の受験番号を掲載する。

URL：<http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/>

なお、電話等による照会には一切応じない。

〈各選抜共通〉

○ 入学検定料の支払いについて

入学検定料については、e-支払いサイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込のうえ、①コンビニエンスストア支払い、又は②クレジットカード支払い・Alipay 国際決済・銀聯網決済により納付すること（日本国外からの支払いの場合は、②クレジットカード支払い・Alipay 国際決済・銀聯網決済のみ）。

17頁の「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照し、支払手続を行うこと（払込手数料は、志願者が負担することとなる）。

支払期間：平成30年1月11日（木）～平成30年1月24日（水）

① コンビニエンスストア支払い

支払後、コンビニエンスストアで受領した「入学検定料・選考料・取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学願書の所定の位置に貼り付けること。

② クレジットカード支払い・Alipay 国際決済・銀聯網決済

支払後、プリントアウトした「照会結果」を、出願書類と共に提出すること。

(注意)

○日本国外からの支払いは、クレジットカード支払い・Alipay 国際決済・銀聯網決済のみ可能。

○e-支払いサイトにおける手順等に関する質問については、同サイト上の「よくある質問」(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>) を参照したうえで、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

○ 博士後期課程奨学金制度

博士後期課程に在学する学生のうち特に優秀な学生に対し、一人当たり年額50万円の奨学金（給与）が全学で300名程度（1学年あたり100名程度）の学生に支給される。

この奨学金に採用された学生は、原則標準修業年限（3年）で学位を取得することが条件となっている。

なお、詳細については、貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）まで問い合わせること。

○ 長期履修学生制度

人間環境学府では学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、本学府教授会の定めるところにより、その計画的な履修が認められる。

この制度により、長期履修学生が修了するまで、1年間に収める授業料の額は、標準修業年限（3年）分の授業料を、計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で除した額となる。（申請期間は平成30年7月頃）

○ 入学手続きについて

入学手続き書類は、平成30年3月中旬に送付するので、所定の期日までに入学手続きを完了すること。

(1) 入学手続き期間

平成30年3月中旬から3月下旬までの予定

(2) 入学手続きの際に納付する経費

① 入学料 282,000円（予定）

② 授業料 267,900円 [年額535,800円]（予定）

(注)上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。なお、授業料については、入学後に徴収する。

○ 個人情報の利用について

(1) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜で利用するほか、住所・氏名を合格者に対する入学手続きの案内業務に利用します。

(2) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜後本学府への入学を許可された者について、学籍関係業務等に利用します。

(3) 入学者選抜試験の成績及びその他の個人情報は、1年次における奨学生への推薦資料並びに入学料免除及び授業料免除等の選考資料として利用します。

- (4) 入学者選抜試験で利用した個人情報、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査・研究資料として利用します。
- (5) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜試験の結果等の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供されることはありません。

○ 注意事項

- (1) 出願書類等を郵送で請求する場合は、返信用封筒（A 4サイズ（角形2号）、宛名明記、250円切手貼付）に、志望専攻・コース名、修士課程・博士後期課程・専門職学位課程の別、一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜の別、志願者の電話番号を記入したメモ紙を添えて、貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）（〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1）に請求すること。
- (2) 願書を郵送で提出する場合は、別添本学府所定の封筒により必ず書留郵便とし、封筒表面の該当欄に○印を付すること。
- (3) 出願手続き後は出願事項の変更は認めない。
- (4) 試験当日は、受験票を忘れずに持参すること。
- (5) 筆記試験の際は、試験開始時刻20分前までに試験室に入室しておくこと。
- (6) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内に限り、受験を認める。
- (7) 平成30年10月より、人間環境学府の修学場所は伊都キャンパスに移転する。なお、教育システム専攻においては、社会人向けにサテライト・キャンパスにおける対応を予定している。

○ 過去の入試問題請求方法について

過去3年分の入試問題を公開しています。

詳しくは、人間環境学府 HP 入試案内 <http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/education/admission/examination.html> を参照ください。

○ 障害等のある志願者の事前相談等

障害等のある志願者は、本学府において受験上及び修学上の配慮を行う場合がありますので、出願に当たっては下記により相談してください。

- ① 相談の時期
平成30年1月4日（木）まで
ただし、期限後に不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮を希望することとなった場合は、その際相談してください。
- ② 相談の方法
相談申請書（様式は特に定めません。）に次の内容を記載し、医師の診断書を添え提出してください。
 - ア 志望専攻・コース
 - イ 障害等の種類・程度
 - ウ 受験上又は修学上配慮を希望する事項
 - エ 出身大学等でとられていた配慮内容
 - オ 日常生活の状況
 - カ 氏名・連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）
- ③ 相談及び連絡先
〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学貝塚地区事務部教務課学生第二係（人間環境学府担当）
電話：092-642-3105（ダイヤルイン）

○ 問い合わせ先

専攻	コース	問い合わせ先
都市共生デザイン専攻	都市共生デザインコース	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学工学部建築学科事務室 電話：092-642-3361（ダイヤルイン）
	持続都市建築システム国際コース	
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学貝塚地区事務部教務課学生第二係 (人間環境学府・教育学部担当) 電話：092-642-3105（ダイヤルイン）
	共生社会学コース	
行動システム専攻	心理学コース	
	健康・スポーツ科学コース	
教育システム専攻	教育学コース ※	
空間システム専攻	空間システムコース	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学工学部建築学科事務室 電話：092-642-3361（ダイヤルイン）
	持続都市建築システム国際コース	

※ 教育システム専攻社会人特別選抜志願者で、教育内容、受験資格及び修学方法について問い合わせをする際は、社会人教育企画室（TEL：092-642-4445 E-mail：kikaku@education.kyushu-u.ac.jp）に問い合わせること。

※ アドミッションポリシー及び教員研究紹介は九州大学大学院人間環境学府ホームページの学生募集要項のページを参照すること。URL：http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/